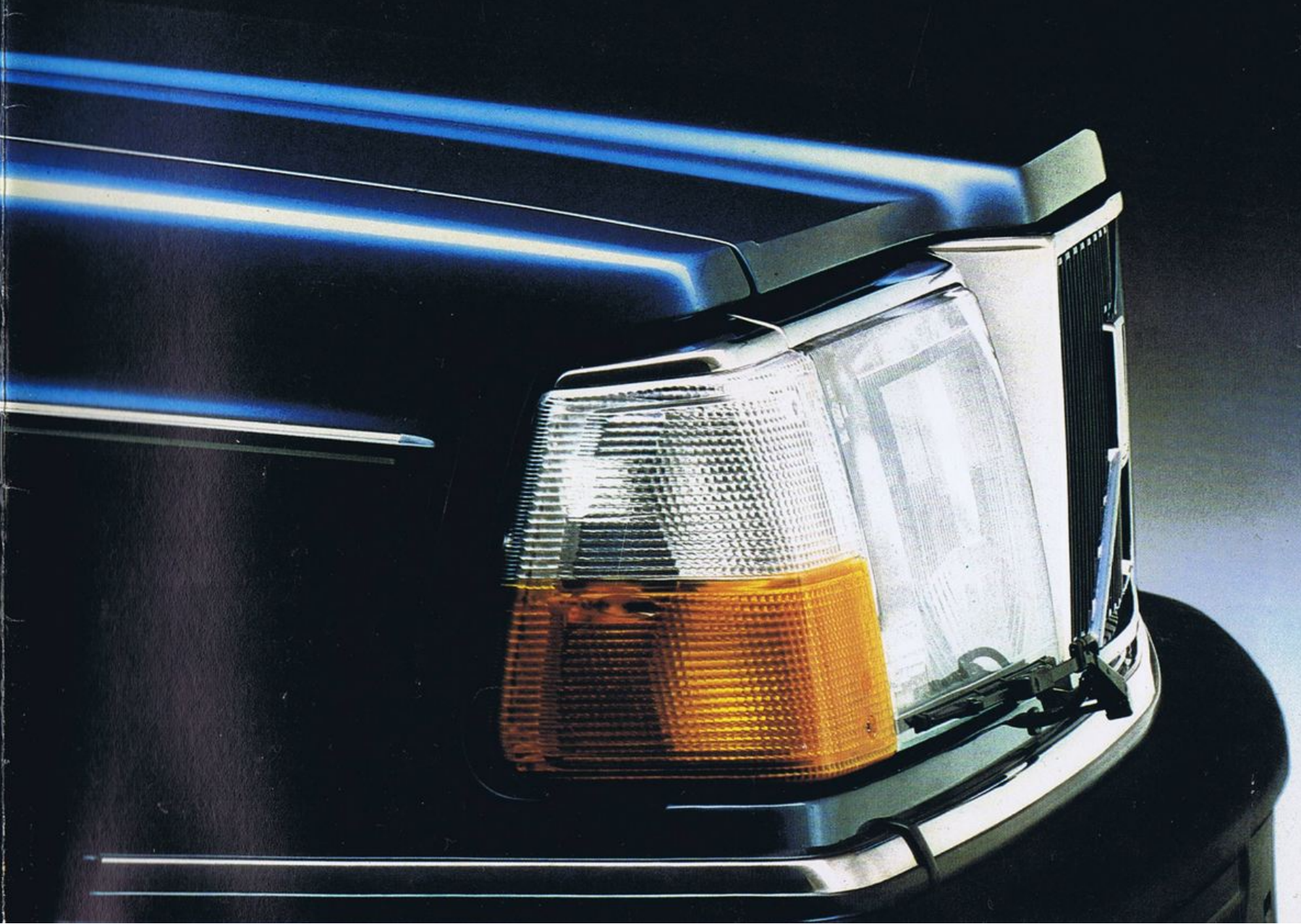
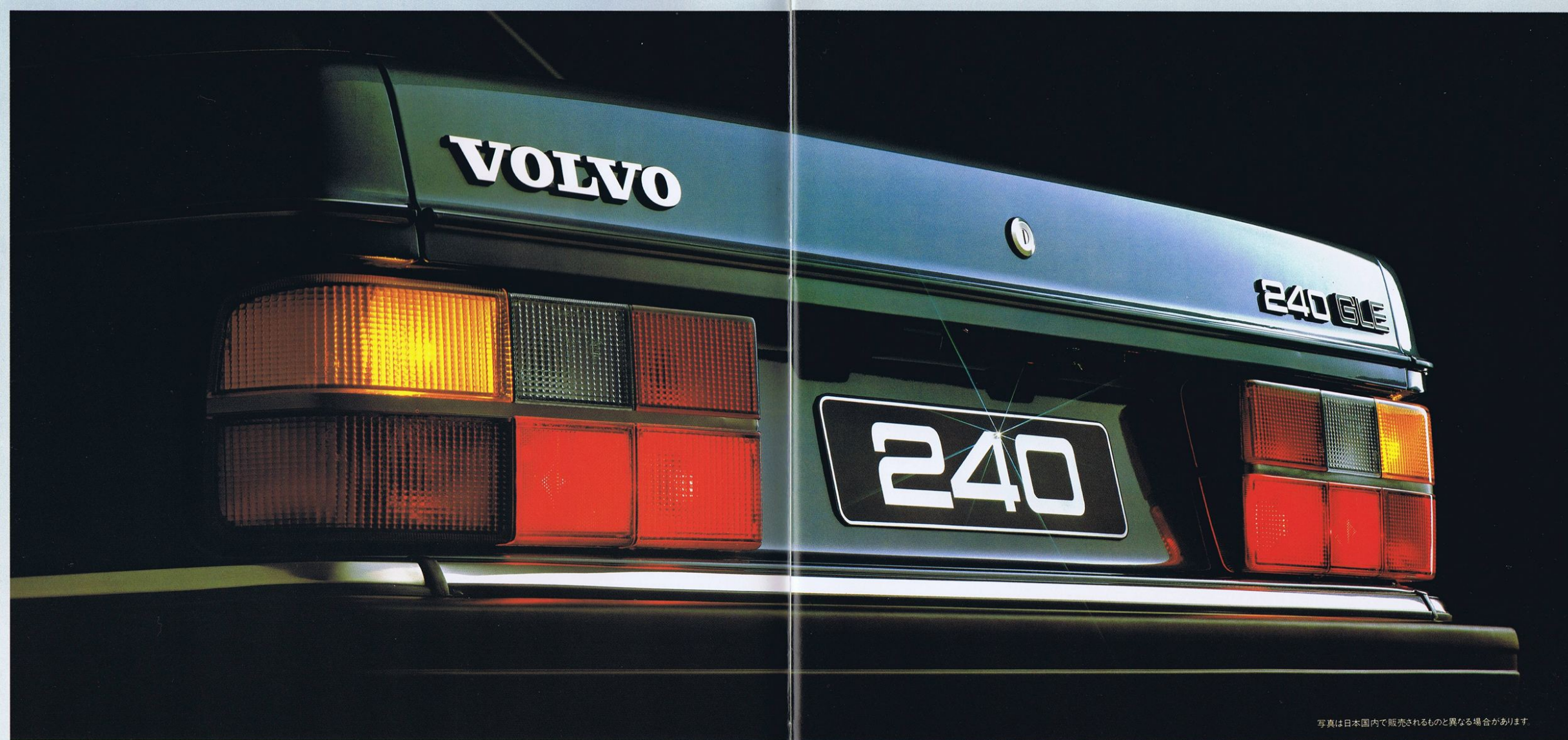


VOLVO 240





写真は日本国内で販売されるものと異なる場合があります。

ボルボ、時代を先導する神話。

時代が、21世紀に向けてその理想や価値観をめぐましく転移していく中で、常に先進の理念を生み出し、具現化し続けるクルマ、それがボルボです。おそらくボルボほど、革新的なテクノロジーに対して意欲的なクルマは、他に例をみないことでしょう。世界をリードするセーフティカーとしての地位は、ボルボが現状に満足したままでは、維持することができなかったものだからです。ボルボが世界に誇るものは数多くあります。しか

し、それらのどのひとつを例にとっても、既存の観念を捨て、常に一步先を探りあててきた先取りの精神ぬきには語ることはできません。クルマの将来をみつめ、人間のための真の安全性を追求しているNHTSA(全米ハイウェイ交通安全管理局)が、すべてのクルマを判定する基準として、「ボルボ」を採用しているという事実こそ、ボルボの先進性を実証しています。今や、あらゆるクルマの標準装備として義務づけられている、セーフティ・

シートベルトにしても、ボルボが他メーカーに先駆けて採用した安全対策の一例です。現在、多くの自動車メーカーがボルボを購入し、研究しています。ボルボにとって、それはむしろ誇るべきことといえましょう。しかし、幾多の競合メーカーがボルボに追いついたときには、ボルボはさらにその先を走っているでしょう。ボルボの先進性は神話化され、セーフティカーの代名詞として不動のものとなりました。その定評を、単なる評判で終わらせなかったのは

ボルボのドライバビリティや快適さ、そしてなによりも運転する人に、大きな満足を与えてくれる各種の特性を身につけているからです。高度な安全性に支えられた心の余裕こそ、ボルボの運転そのものを楽しくしてくれる原点です。



写真には日本国内で販売されるものと異なる場合があります。

考える人のためのクルマ、ボルボ。

ボルボ240シリーズは、クルマを選択する際に感覚よりも常識や合理性を優先できる人々に選ばれています。事実、ボルボ・オーナーのほとんどが確かな価値基準を持ち、ボルボの基本的な考え方を十二分に理解している人々です。大切なお金をかけてクルマを購入するとき、決して派手な広告や甘い言葉に左右されることはありません。真に完璧に設計され、綿密な配慮がすみずみまでゆきとどいているクルマが、数秒ごとに大量生産ラインから生産されてくるとは思えないから

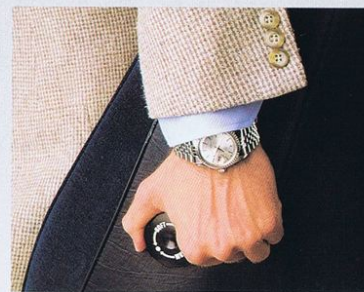
です。どんなにささいな部分も熟考されつくしているボルボ。例えば、後方が見やすいように工夫されたヘッドレスト、雨の日の泥道で役立つヘッドライトのワイパー/ウォッシャー、そのほか言われなければ気づかないような部分にまでその配慮はゆきとどいています。ボルボ240シリーズを運転してみたときに感じる不思議な落ちつきは、快適性、安全性、そして品質そのものを優先・重視するボルボの理念から生まれてくるものです。



ボルボは、考えられる限りの配慮がすみずみに施されています。



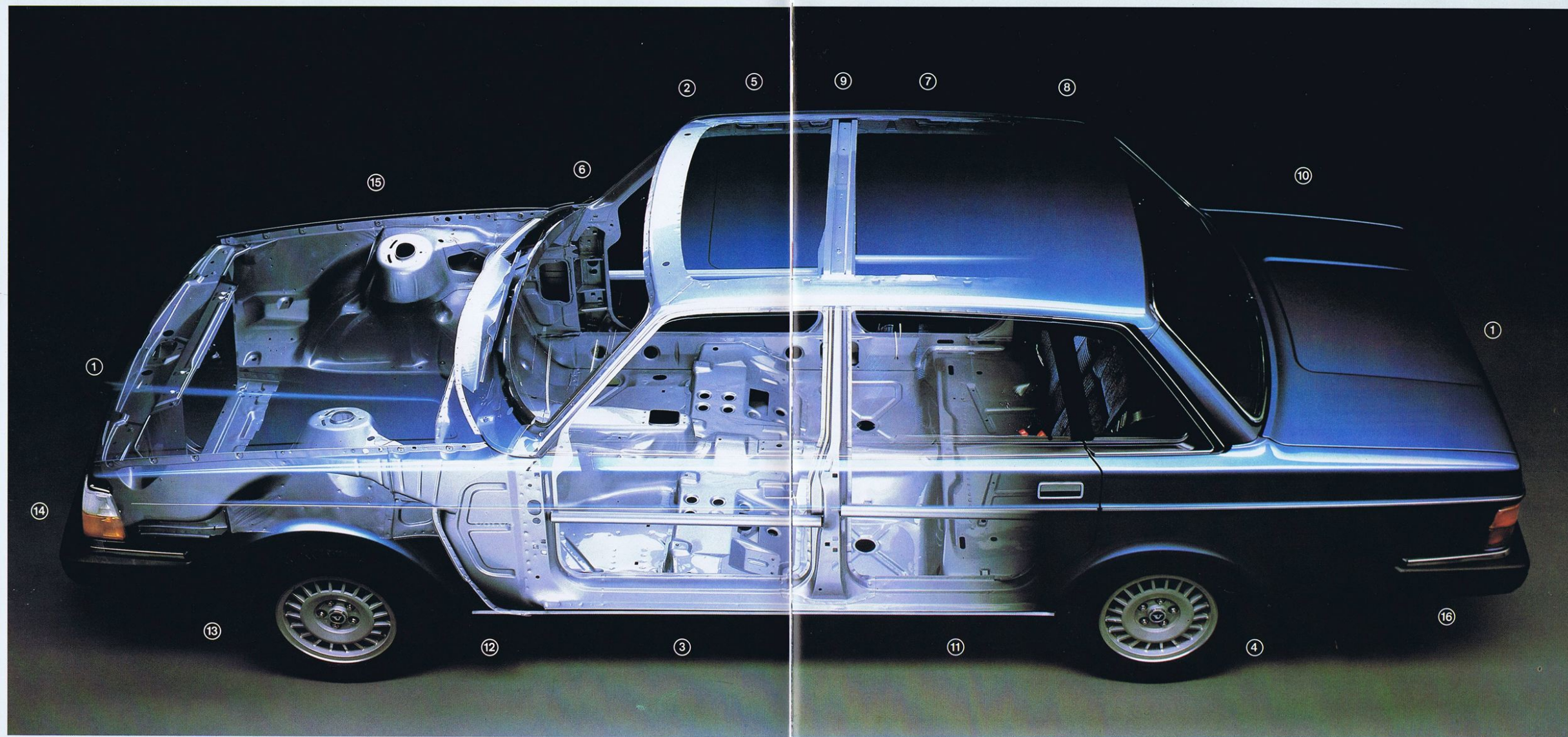
乗る人の安全について、ボルボほど考えつくされているクルマはありません。



快適性についても、ボルボにはデリケートな配慮がゆきとどいています。



ボルボの運転席にすわった瞬間から、あなたは不思議な落ちつきに満たされるでしょう。



クルマ造りの理想を示したボルボ。その安全性と

国の法律が、自動車メーカーによって変更されることは、まずありません。ところが、ボルボはこれを見事に実現してみせました。しかも、1度だけでなく、数回にもわたって多くの国の法律を変更していったのです。確かに驚くべきことかもしれませんが、この実績は、ただ漫然とひねくりまわしているうちにできたわけではありません。運転して楽しいクルマを、そして万一の事態からも乗る人を最大限に保護できるクルマをつくり出そうというひたむきな努力から生まれたものです。

ボルボの標準装備のいくつかは、現在、各国の法律で義務づけられています。セーフティシートベルト(今や大半のクルマに普及している3点連結方式も、ボルボが標準装備として初めて導入したものです)、積層合わせガラス採用のウィンドウスクリーンなどがその例です。このボルボの精神は、徹底して貫かれ、あくなき理想追求の努力は、240シリーズとして結晶したのです。クルマの安全性は、優れた品質によってのみ達成されます。そして安全なクルマとは、必ず長持ちするよう

につくられているものです。スウェーデンの車検会社の調査によりますと、ボルボの耐用年数は平均19.3年。2位以下を大きく引き離して、年ごとに記録を更新し続けています。まさに、価値あるクルマと呼ばれるのにふさわしい、ボルボ。「最も安全なクルマこそ最も優れたクルマ」という固い信念は、数字によってもはっきりと裏づけされているのです。

品質の基準は、常に世界をリードしています。

1. フロント部・リア部のクランブルゾーンが、衝突時の衝撃を吸収し和らげます。
2. 車室を保護する強固な「ケージ構造」をはじめ、車体の各部分はすべて頑強なボックス型鋼材で補強されています。
3. 各ドアの内部には鋼鉄製のパイプが組みこまれ、側面からの衝突にも備えています。
4. 燃料タンクは、安全のため後部バンパーから離れた場所に設置され、しかも車室から完全にしゃ断されています。
5. 5重の衝撃吸収構造のステアリングは、万一の衝突の際にもドライバーを最大限に保護するように設計されています。
6. 衝突時にドライバーがフロントウィンドウに投げ出され、割れても安全な積層合わせガラス採用のウィンドウスクリーンを標準装備しています。

7. 前部座席・後部座席とも、ボルボ独自のイナーシャリール付き3点式セーフティシートベルトを装備しています。
8. 内装の細部は、すべて乗る人の安全を考慮した設計です。突起部分を一切なくし、各部にパッド、カバーが使用されています。
9. ヘッドレストは安全性の上でも充分な配慮がゆきどき、頑丈につくられています。また、後方を見やすいように工夫された穴開き型を採用しています。
10. ボディ全体に念入りの表面塗装が施されているため、いつまでも美しい外観を保つことができます。
11. 左右のドア下部は通気構造になっています。特に湿気がたまりやすいこの部分に風を通すことにより、いつでも乾燥状態を保ち錆を防ぎます。
12. ボディの接合部には特別な防錆スプレーをし、アンダーシール加工が施されています。

13. タイヤハウスの内側にはプラスチック製ガードが取り付けられ、泥や飛び石による損傷を防いでいます。
14. 前後の衝撃吸収バンパーは、軽量で、しかも強靱なアルミ合金製です。ショックアブソーバーでボディに接合されているため、4km/hまでの衝撃は吸収され、ボディまで到達しません。
15. 特に損傷度の高い部分には、溶解亜鉛コーティングされたプレートを使用し、耐久性を高めています。
16. エキゾーストシステムは、細部にわたりすべて防錆アルミ仕上げされ、腐食を防いでいます。

ドライブに大きなゆとりを生む理想の安全性。

ダイナミック・セーフティ。

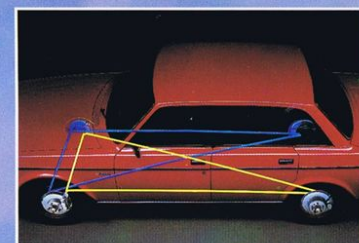
「セーフティカー」として、ボルボはすでに不動の地位を築きあげました。しかし、現状に満足することなく、常にクルマの安全性を向上させることこそボルボの使命。より完璧な安全性を求めて経験のすべてと莫大な資財を注ぎ、長期にわたる研究・開発の努力を続けてきました。そして、ひとつの結論を導き出したのです。

理想の安全性とは、ひと言でいえば未然に事故を防げること。つまり、ごく一般のドライバーが、予期せぬ極限的な事態に直面した場合、特別なテクニックなしでもスムーズに切り抜けられる特性をクルマに組みこむことです。言葉にすれば簡単な問題も、実現するのは予想以上に困難でした。しかし、その成果も予想以上に大きなものでした。人間の反応に、クルマの特性を巧みに連動させ

たボルボ。必要なときに必要なだけの加速力を機敏に発揮するエンジン、信頼性が高く期待通りの制動力が得られるブレーキ、軽快で反応のよいステアリング性能、そして安定感あふれる理想のロードホールディング。これらすべての特性の緻密な組み合わせが、ボルボならではの「ダイナミック・セーフティ」を生み出しています。

もちろん、ボルボの安全性を確認するために、特に高速走行をしてみたり、危険な状況に飛びこむ必要はありません。ステアリング、アクセル、ブレーキなどがどのように効果的に反応するかを、ご自身で感じていただければ充分です。あらゆる状況下で、すぐれた安全性を発揮するボルボ。「ダイナミック・セーフティ」は、毎日の運転を、さらに楽しくしてくれる特性でもあるのです。

1. ボルボのダイナミック・セーフティのかぎは、精密テストから生まれたシャシー設計にあります。選りぬきの各構成部品を組み合わせ、高度な運転特性を示すように作られています。
2. エンジンは、中速から高速のレンジでの加速を重視して設計されています。追い越しなど本当に必要な場合に、最大のパワーを発揮することができます。
3. ステアリングは、正確でシャープに反応するラック・アンド・ピニオン式。ステアリングの動きと車輪の動きとの間の微妙なタイムラグを計算して、クルマがドライバーの思い通りの軌跡を描けるように設計されています。
4. ブレーキシステムは、独自のダブルトライアングル2系統システムを採用。万一、片方のブレーキ回路にトラブルが発生しても、前2輪と後1輪には制動力が働き、方向安定性が維持され平常の80%以上の制動力を確保できます。その際にもブレーキの踏みしろがほとんど変わらないステップ・ボア・マスターシリンダーを採用。急制動時の後輪のロックを抑え横すべりを防ぐリリーフバルブも組みこむなど、念には念を入れた設計です。



常にベストな環境を保つボルボの運転席。

ボルボの運転席にすわっていただければ、細部にいたるまで工夫されていることが一目でおわかりになるでしょう。ドライバーが、交通状況に最大限の注意を集中でき、車内には最小限の注意ですむように配慮されています。すぐれた運転環境と快適性は、安全性にも密接な関係があるからです。快適なすわり心地の運転シートがあればそれだけリラックスして運転ができ、ドライバーの能力もフルに発揮できるというわけです。

ボルボは、解剖学や環境心理学の最高権威者

たちが構成されるプロジェクトチームをつくり、緻密なテストをくり返してきました。そこから生まれたのが、微調整式のランバーサポートを内蔵した運転シートです。理想的な運転姿勢を維持し腰椎の疲れを和らげるため、長時間のドライブも苦になりません。シートとバックレストは、寒い日には自動的に作動する電気ヒーターが組みこまれ冬のドライブにも快適さをお約束します。

コントロールスイッチ類の配列もまた、安全な運転のために欠かせません。すべての操作がステア

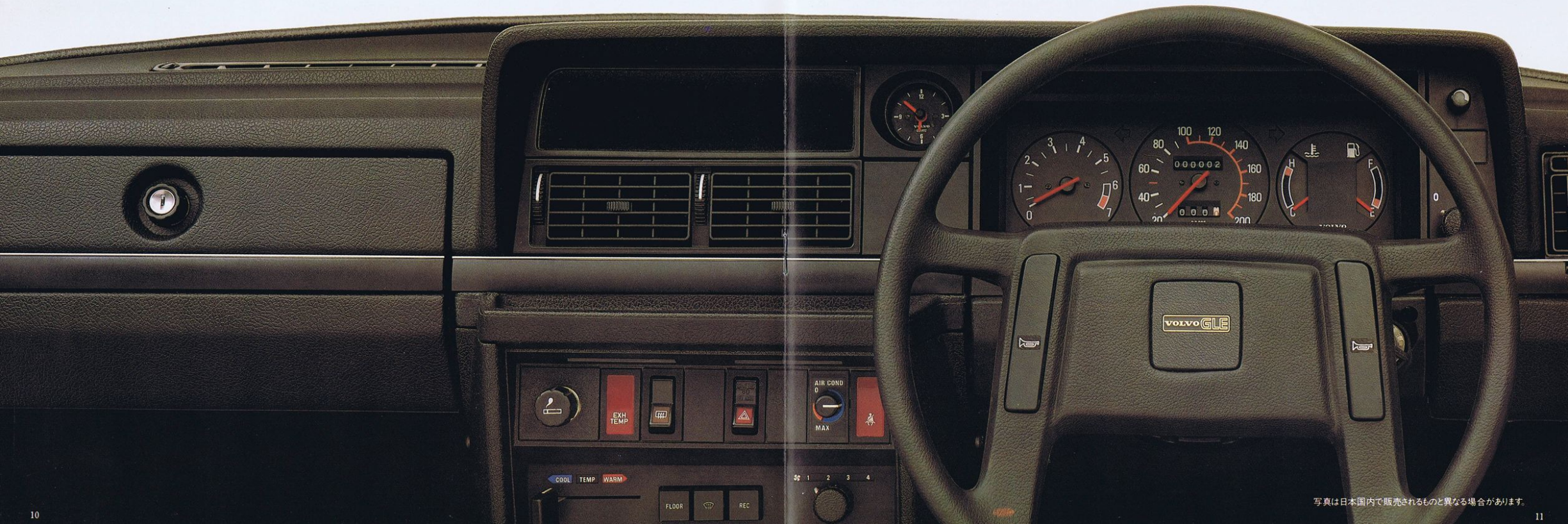
リングから手を離さず容易にできます。インストルメント・パネルの計器類も見やすく配置され、警告ランプ、注意装置など広範囲にわたるシステムが完備されています。たとえば、独自のランプ故障センサーは、ヘッドランプ、リアランプ、ブレーキランプなどが故障した場合に点灯、表示してくれます。車内からは気づきにくいこれらの故障も一目で確認でき、いつでも安心して運転に専念することができます。そのほか、キーを差しこんだまま外へ出ようとしたり、ヘッドライトを消し忘れた場合でも、

警告ブザーがすぐに知らせてくれます。

視界の広さも、安全の大きな条件です。ボルボは、91%というワイドな全周視界を得るために、運転席から見た各ピラーの幅を目と目の間隔よりも狭くなるよう設計。特に後方の視界をよくするためには車内から調節可能な大型防眩ドアミラーを採用しています。さらに、ウォッシュャー/ワイパー、ウィンドウスクリーン曇りを防ぐデフロスター、熱線入りリアウインドウなど、どんな天候下でも常にベストな視界を確保するための配慮が施されています。

これらすべてが組み合わせられて快適な環境をつくり出し、運転に集中できるよう人間中心に設計されているボルボ。クルマとドライバーがいつでも理想的なコンディションに保たれ、運転そのものを楽しくしてくれます。

1. ゆったりしたボルボ240シリーズの車内。しかし、回転半径は小型車なみの4.9mです。せまい場所での操作も非常にスムーズにできます。
2. 定評あるボルボのシートは、多様な調整が可能です。バックレストに内蔵されたランバーサポートはドライバーの背中を柔軟に支え、長時間のドライブでも疲労を少なくしてくれます。







写真は日本仕様で販売されるものと異なる場合があります。

ただ安全に走るだけでなく、 ボルボは快適な居住性をも満足させてくれます。

クルマを選択する際の決定要因のひとつに、居住性をあげる方が多いようです。ドライバー自身だけでなく、同乗者のことをも考慮した結果でしょう。クルマに乗ることは、いいかえれば、広さ3㎡ほどの部屋にずっとすわり続けるということです。当然、快適性を確保するためのさまざまな条件が要求

されます。ボルボが後部座席の設計を特に重視する理由は、まさにここににあります。後部座席には、まずすわり心地のよいシートと、何時間でも快適にドライブを続けるための居住性が必要です。ボルボは、リラックスできるセンターアームレストを備え、レッグルームにもたっぷりと

余裕をとっています。また、忘れてはならないのが、車室内の気温と空気です。ボルボは、理想のエアコンデションが得られ、14個の吹出口により、フレッシュな空気をお望みの箇所に送ることができます。安全性はもちろん、快適性に満ちたボルボ。乗るほどにこの思いは、ますます強くなることでしょう。

1. 冷暖房・換気システムにより理想のエアコンデションが得られ、換気も同時に行なわれます。14箇所の吹出口からは、フレッシュな空気お望みの場所に正確に送られ、快適さを保ちます。
2. 240 GLはセンスの良いファブリックシートを標準装備。240GLE・ターボ・ターボワゴンのシート主要部分には本革製を標準装備し、ひととき豪華さを高めています。
3. トランクルームは、かさばる品物もたくさん収納できます。荷物の出し入れもできるだけ簡単ように設計されています。
4. ロック付きグローブボックスには、折りたたみ式トレイ、照明付きパニティミラーなどの便利な小物が備えられています。メガネ、地図、小銭用の収納場所なども配慮されています。
5. 後部座席のセンターアームレストを下ろすと開口部になっていて、長い荷物やこれより荷物の収納に便利です。(ターボワゴンを除く)
6. ボルボは、お子さまのための安全装備も各部に採用しています。



写真は日本国内で販売されるものと異なる場合があります。

群を抜く加速性能を秘めたボルボターボ。 まさに、パフォーマンスの熱い鼓動。

まさかボルボにターボが生まれるとは——おそらく誰もが予期しなかったに違いありません。世界をリードする先進のセーフティカーとして神話化されてしまったボルボのイメージからは、熱血漢にも似たパワフルなターボは、想像を超えたものでしょう。しかし、ボルボは、数多いボルボオーナーの中には、神話化されたボルボ像に加えてよりスポーティな走行性能を求める人々がいることに注目しました。すべてのボルボオーナーに満足を提供するからこそ、ボルボの使命だからです。ターボ車を開発するにあたり、ボルボの頑固な理想主義がまた顔を出しました。高出力にふさわしいシャシーやミッションの調整、サスペンションの開発など、各部の信頼性をさらに高いものにしてから、はじめてターボチャージャー付きB21FTエンジンを搭載したのです。

B21FTエンジンは、排気圧を利用して吸入気を

圧縮し、出力をアップするというターボ・エンジンの基本原理を、高い完成度で実現しました。この結果、133hp (DIN)/5,400rpm、21.4kg-m (DIN)/3,750rpmというハイパワーと抜群の加速性能を示すボルボターボが誕生したのです。0-100km/hの走行タイムは9.0秒。2ℓクラスでは上位の加速性能を誇ります。特に、実際の走行時に重視される追い越し時の加速性能の卓越ぶりも、次のデータにより確認できます。

0-100km/h=9.0sec.

70-90km/h=4.6sec.

70-100km/h=6.6sec.

70-110km/h=8.7sec. ※ヨーロッパ仕様データによる

ボルボターボの大きな機構的特長は、プレッシャーコントロール装置にあります。つまり、低速、高速、低回転、高回転と運転状況の変化に伴いブースト圧を調節し、より良いエンジンレスポンス

を得るという新機構を採用したのです。2ℓクラスの燃料消費で、3ℓクラスのパフォーマンスを可能にしたボルボターボ。4速フルオートマチック（オーバードライブ付き）トランスミッションを装備し、燃費も向上。ボルボならではの高度な安全性はターボ車にも徹底して貫かれています。

ラグジュアリー感覚に便利さをプラス。 ボルボターボワゴン。

ステーションワゴンとして世界で初めてターボ・ガソリンエンジンを搭載したボルボターボワゴン。レクリエーション・ビークルの機能性に、ハイパワーの魅力を加えて、スポーティな走りへ応えます。仲間同志のレジャーやご家族おそろいのご旅行など、行動半径はさらにワイドに。ボルボ伝統の快適性、信頼性。安全性もちろん受け継いで、スポーツ心に熱く呼びかけます。まさにコンビニエンス・セーフティカーと呼ぶにふさわしいステーションワゴンです。

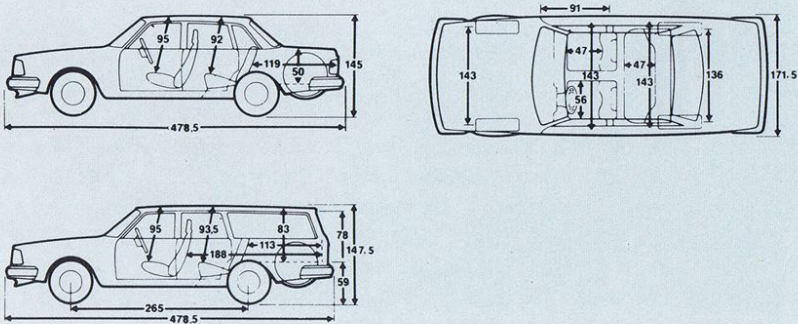


SPECIFICATIONS(ボルボモデル仕仕様)

車種	240GL	240GLE	Turbo	Turbo Wagon
●型式	E-24B2I	E-24B2I	E-AB2I	E-AB2IW
●ボディ型式	4ドアセダン	4ドアセダン	4ドアセダン	5ドアワゴン
●寸法				
全長	mm 4,785	4,785	4,785	4,785
全幅	mm 1,715	1,715	1,715	1,715
全高	mm 1,450	1,450	1,450	1,475
ホイールベース	mm 2,650	2,650	2,650	2,650
トレッド前/後	mm 1,430/1,360	1,430/1,360	1,430/1,360	1,430/1,360
最低地上高(空車時)	mm 140	140	160	160
●重量・定員				
車両重量	kg 1,315	1,345	1,365	1,415
乗車定員	名 5	5	5	5
車両総重量	kg 1,590	1,620	1,640	1,690
●エンジン				
種類	OHC水冷直列4気筒	OHC水冷直列4気筒	OHC水冷直列4気筒	OHC水冷直列4気筒
型式	B21F	B21F	B21FT	B21FT
シリンダー内径×行程	mm 92×80	92×80	92×80	92×80
総排気量	cc 2,127	2,127	2,127	2,127
圧縮比	9.3:1	9.3:1	7.5:1	7.5:1
最高出力(DIN)	hp/rpm 113/5,500	113/5,500	133/5,400	133/5,400
最大トルク(DIN)	kgm/rpm 16.3/2,500	16.3/2,500	21.4/3,750	21.4/3,750
燃料供給装置	機械式燃料噴射	機械式燃料噴射	機械式燃料噴射	機械式燃料噴射
燃料タンク容量	ℓ 60	60	60	60
使用ガソリン	無鉛ガソリン	無鉛ガソリン	無鉛ガソリン	無鉛ガソリン
点火システム	フルトランジスター	フルトランジスター	フルトランジスター	フルトランジスター
●諸装置				
トランスミッション				
変速比 第1速	2.450:1	2.450:1	2.452:1	2.452:1
" 第2速	1.450:1	1.450:1	1.452:1	1.452:1
" 第3速	1.000:1	1.000:1	1.000:1	1.000:1
" 第4速(オーバードライブ)	—	—	0.690:1	0.690:1
" 後退	2.222:1	2.222:1	2.212:1	2.212:1
最終減速比	3.727:1	3.727:1	3.909:1	3.909:1
ステアリング方式	ラック・アンド・ピニオン、 パワーアシスト付	ラック・アンド・ピニオン、 パワーアシスト付	ラック・アンド・ピニオン、 パワーアシスト付	ラック・アンド・ピニオン、 パワーアシスト付
懸架方式 前	マクファーソンストラット式	マクファーソンストラット式	マクファーソンストラット式	マクファーソンストラット式
" 後	5リンク式コイルスプリング ディスク式	5リンク式コイルスプリング ディスク式	5リンク式コイルスプリング ディスク式	5リンク式コイルスプリング ディスク式
主ブレーキ 前	ディスク式	ディスク式	ディスク式	ディスク式
" 後	ディスク式	ディスク式	ディスク式	ディスク式
駐車ブレーキ	ドラム内蔵後2輪制動	ドラム内蔵後2輪制動	ドラム内蔵後2輪制動	ドラム内蔵後2輪制動
タイヤ	175SR14	185/70HR14	195/60HR15	195/60HR15

メカニカル仕様

- エンジン
OHC、直列4気筒、クロスフロータイプ(240GL&GLE)
OHC、直列4気筒、ターボチャージャー付、
クロスフロータイプ(Turbo、Turbo Wagon)
- 燃料系統
機械式燃料噴射、電気式フェーエルポンプ
- 電気系統
フルトランジスタイグニッションシステム、
バッテリー:12V70A
交流発電機:70A980W
スターター:1.1hp
- 冷却装置
密閉式ラジエーター
クーラント容量:9.4ℓ
エレクトリックファン併用
- ステアリング系統
パワーアシスト付ラック&ピニオン式
ロック・ツール・ロック:3.5回転
- 変速機
オートマチック、トランスミッション
AW55 (240GL & GLE)
前進3速
AW714 (Turbo, Turbo Wagon)
前進4速(オーバードライブ付)
- サスペンション機構
前輪:
スタビライザー付マクファーソンストラット
後輪:
コントロールアーム、トルクロッド付
コイルスプリングによる5リンク式ライブ・アクスル
アンチロール・バー付
ガス封入式ショックアブソーバー
- ブレーキ系統
4輪ディスクブレーキ
ダブルライアングル式二系統
ステップ・ボア・マスターシリンダー付
駐車ブレーキ:リアドラム内蔵
- タイヤ
スチールラジアルタイヤ
175SR14(240GL) 185/70SR14も取付可能
185/70HR14(240GLE)185/70SR14も取付可能
195/60HR15 (Turbo, Turbo Wagon)
- メーカー保証
走行距離無制限12ヵ月



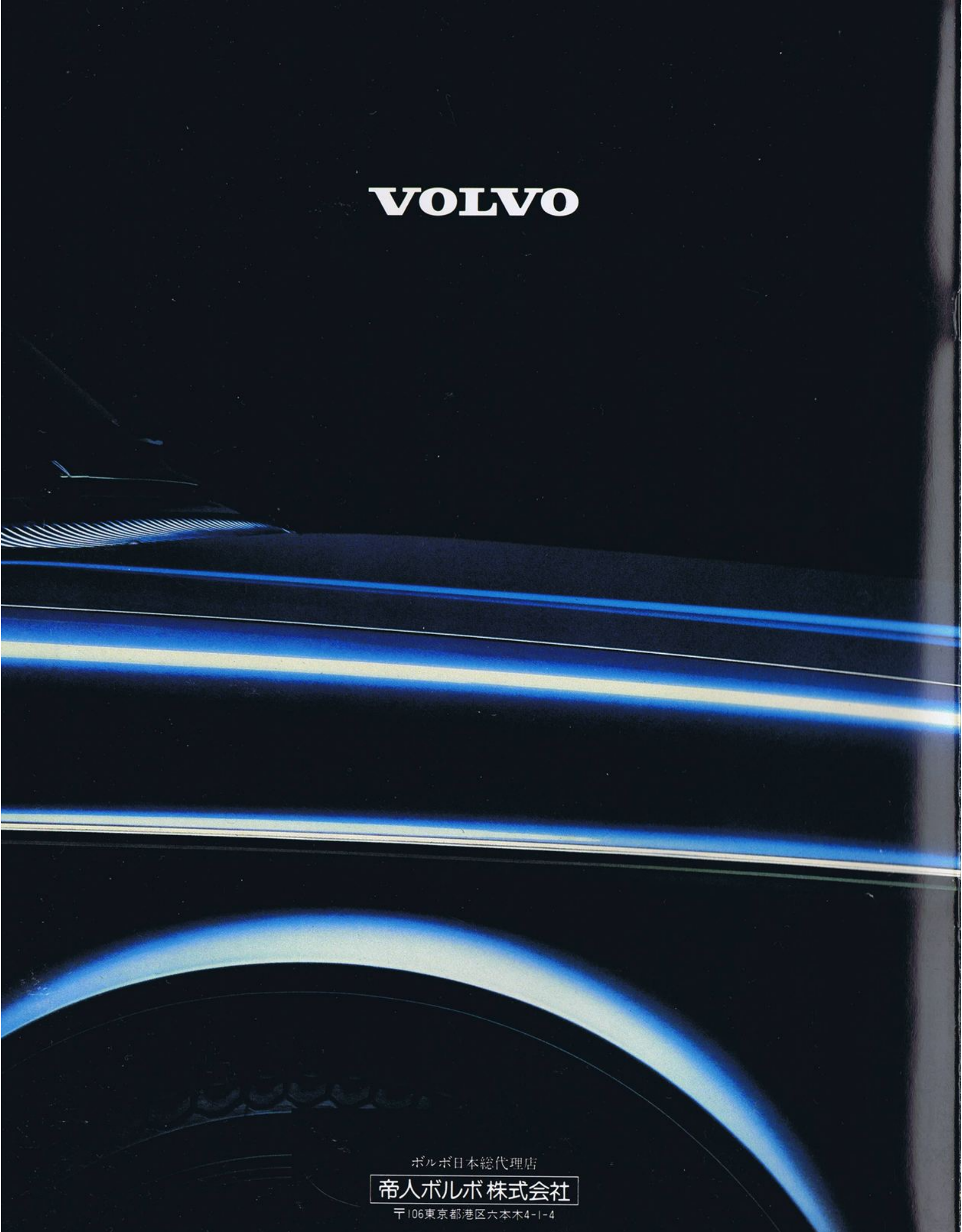
EQUIPMENT(装備品一覧)

項 目					240GL	240GLE	Turbo	Turbo Wagon	項 目					240GL	240GLE	Turbo	Turbo Wagon
安全対策	衝撃吸収バンパー				○	○	○	○	フロントシート:								
	サイドプロテクションバー(ドア内部)				○	○	○	○	無段階調節フルリクライニング		○	○	○	○	○	○	○
	クラッシュプル/ケージ組み合わせ構造				○	○	○	○	微調整ランバーサポート		○	○	○	○	○	○	○
	安全ガソリンタンク				○	○	○	○	前後高さ調整レバー		○	○	○	○	○	○	○
	安全合わせガラス				○	○	○	○	一体式ヘッドレスト		○	○	○	○	○	○	○
	三点式イナーシャリールシートベルト				○	○	○	○	自動ヒーター付きドライバースシート		○	○	○	○	○	○	○
	チャイルドセフティロック				○	○	○	○	フロントシート背面ポケット		—	○	○	○	○	○	○
	不燃性室内ファブリック				○	○	○	○	リアシート:								
	5重安全対策ステアリングシステム				○	○	○	○	センターアームレスト		○	○	○	○	○	○	○
	ダブルライアングルブレーキシステム				○	○	○	○	一体式ヘッドレスト		○	○	○	○			
操縦・作動・装備	パワーアシスト付ディスクブレーキ(4輪)				○	○	○	○	エアーコンディショナー		○	○	○	○			
	ステップボア・マスターシリンダー				○	○	○	○	FM、AM付きカセットステレオ		○	○	○	○	○(電子同調式)	○	○(電子同調式)
	リリーフバルブ				○	○	○	○	オート・アンテナ		○	○	○	○	○	○	○
	耐腐食性ブレーキパイプ				○	○	○	○	本革シート		—	○	○	○	○	○	○
	ステアリングロック				○	○	○	○	ファブリックシート		○	—	—	—	—	—	—
	パワーステアリング				○	○	○	○	ロック付きクラブボックス		○	○	○	○	○	○	○
	前／後パワーステアリング	○(前窓のみ)			○	○	○	○	メイクアップミラー		○	○	○	○	○	○	○
	開けっ式ワイパー				○	○	○	○	ドアポケット		○	○	○	○	○	○	○
	ドアミラー	○(手動)	○(電動)	○(電動)	○(電動)	○(電動)			パネトレイ		○	○	○	○	○	○	○
	ヘッドライトワイパー／ウォッシャー				○	○	—	—	防眩ルームミラー		○	○	○	○	○	○	○
計器・警告灯	スピードメーター				○	○	○	○	バイルカーベット		○	○	○	○	○	○	○
	トリップメーター				○	○	○	○	トランクルームカーベット		○	○	○	○	○	○	—
	タコメーター				—	○	○	○	トランクルーム・エンジンルーム照明		○	○	○	○	○	○	○
	燃料計				○	○	○	○	トランクオープンナー		○	○	○	○	○	○	—
	水温計				○	○	○	○	熱線吸収ウインドウガラス		○	○	○	○	○	○	○
	ターボブースト計、油圧計、電圧計				—	—	○	○	熱線入りリアウインドウ		○	○	○	○	○	○	○
	ウォータツクロック				○	○	○	○	サンルーフ		—	○	○	○	○	○	—
	オルタネータ作動警告灯				○	○	○	○	アルミホイール(スポーク)		—	○(25本)	○(5本)	○(5本)	○(5本)	○(5本)	○(5本)
	油圧低下警告灯				○	○	○	○	フロントスポイラー		○	○	○	○	○	○	○
	排気系統過熱警告灯				○	○	○	○	バンパーガード		○	○	○	○	○	○	○
外装	ブレーキ失陥警告灯				○	○	○	○	マッドフラップ		○	○	○	○	○	○	○
	駐車ブレーキ警告灯				○	○	○	○	アルミ仕上げエクゾーストパイプ		○	○	○	○	○	○	○
	ハイビーム作動表示灯				○	○	○	○	防錆ボディ		○	○	○	○	○	○	○
	各種バルブ断線警告灯				○	○	○	○	メタリック塗装		—	○	○	○	○	○	○
	シートベルト着用警告ブザーと警告灯				○	○	○	○	エナメル塗装		○	—	○	○	○	○	○

COLOUR & UPHOLSTERY(カラーコーディネーション)

モデル	240GL	240GLE	Turbo	Turbo Wagon
ボディカラー	シート	ファブリック	本革(一部人工皮革)	本革(一部人工皮革)
ホワイト	ブルー	—	ブラック	ブラック
シャドーブルー	ブルー	—	—	—
ダークブルー	ベージュ	—	—	—
ライトブルー	ブルー	—	—	—
ベージュ	ブラウン	—	—	—
ワインレッド	ベージュ	—	—	—
シルバーマトリック	—	ブラック	ブラック	ブラック
ブルーマトリック	—	ブラック	ブラック	ブラック
レッドメタリック	—	ベージュ	ベージュ	ベージュ

- ★諸元データはメーカー発表の資料に基づくもので、運輸省認可の諸元表に記載されるものと異なる場合があります。
- ★価格、仕様は予告なく変更される場合があります。
- ★当社で輸入販売するボルボ車はすべて、現行の排気ガス規制を満たしています。
- ★本カタログに使用されている写真は日本国内で販売されるものと異なる場合がありますので、詳しくは販売店にお問い合わせ下さい。
- ★本カタログに関するお問い合わせは、当社営業企画部まで。



VOLVO

ボルボ日本総代理店

帝人ボルボ 株式会社

〒106東京都港区六本木4-1-4